

# SCSK OSS 導入事例

## 自社プロダクト 「PrimeCloud® Controller」の オープンソース化戦略

### 「PrimeCloud® Controller」の特徴

1. ハイブリッドクラウド対応  
VMWare、Eucalyptus、CloudStack、  
AWS、NIFTY Cloud、IDC フロンティア、  
NTTCom Cloud n、USiZE  
Microsoft Azure、OpenStack
2. Web, AP, DB などミドルウェアなども自動  
設定
3. さまざまなクラウドで統一的操作
4. さまざまなクラウドをまとめて Zabbix で  
一元管理
5. クラウド間接続に必要な VPN を自動で接続

### 「PrimeCloud® Controller」とは

## ハイブリッドクラウド時代を手中に収める鍵

「ハイブリッドカーが当たり前になったように、クラウドでもハイブリッドの時代が来る。そしてそれを制御するソフトウェアが必要になるはずだ」——クラウドが企業で本格的に利用され始めた当時に、IT マネジメント事業部門はこのように予測していた。

サーバーの一時的な利用増減時に、パブリッククラウドとプライベートクラウドを使ってコストメリットを発揮させるハイブリッドクラウド。最近でこそ多くの企業が利用しているが、「PrimeCloud Controller」が誕生した 2010 年、それを現実のものとして構想する者は少なかった。

「PrimeCloud Controller」は、簡単な GUI 操作でパブリック/プライベートの両クラウドを統一的に管理できるため、専門スタッフでなくても急激な負荷増大時のサーバー増設の環境構築を約 20 分で完了させたケースもある。クラウドの普及に伴い、先駆的に製品化された「PrimeCloud Controller」は多くの企業に導入され、信頼と実績を積み重ね、そして 2014 年春、「PrimeCloud Controller」オープンソースソフトウェア(OSS)版が発表された。

### OSS 時代を見据えた開発が進化の時を迎えた

クラウドの世界は OSS と相性がよく、「PrimeCloud Controller」も初めから OSS を活用して開発していた。それは、日々進化する OSS を利用することで、製品自体も、より顧客満足の高い製品に進化させたいという考えの表れでもある。

また、OSS 版の提供により、SCSK のクラウドサービス「USiZE」など SCSK の顧客だけでなく、同業他社などの独自クラウドにも自由に導入できるようになった。

「商用としての信頼と実績、さらに、OSS の知見を集中させた専門部署、OSS 開発に強い関係会社(VA Linux Systems Japan)などプレーンが大勢いるので OSS 版に踏み切れました」と浅野佑貴は言う。

「PrimeCloud Controller」OSS 版が生まれた背景には、将来を見据えたクラウド事業の展開、今後も OSS のノウハウを蓄積していくという SCSK の強い意志が存在していた。

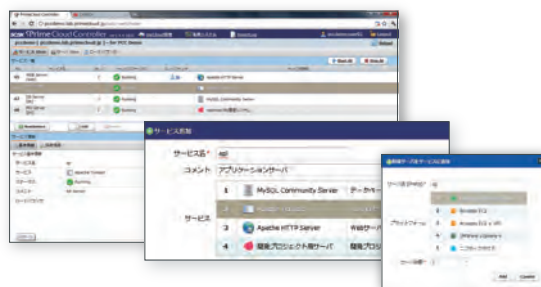
#### 開発スタッフ



SCSK 株式会社  
IT マネジメント事業部門  
基盤インテグレーション事業本部  
クラウドインテグレーション部  
クラウド企画課

浅野 佑貴

#### さまざまなクラウドで統一操作



#### PrimeCloud Controller

「PrimeCloud Controller」は、  
「2012 年に新設された、獨創性が  
高く、国際的に通用するシステム事  
例」として、一般社団法人情報サー  
ビス産業協会の「JISA AWARDS  
2012」で表彰されました。



# OSS VIEW

## OSS 版開発のプロセス

### OSS 専門部隊をもつ SCSK ならではの視点を発揮

「PrimeCloud Controller」OSS 版の誕生に大きな役割を果たしたのが、「SCSK R&D センター OSS 戦略企画室」。OSS に注力してきた SCSK の方針を具現化した組織といえる存在だ。

例えば、複数の OSS で開発された「PrimeCloud Controller」OSS 版のライセンスとして、「GNU GPL (General Public License) v2」を推したのは、OSS 戦略企画室だ。菊地吾朗は言う。「OSS のライセンスは数が多いだけでなく、一つひとつの内容も複雑です。開発部門のビジネスプランに適し、また利用される方にとって理解しやすいライセンスである。そのため、OSS ユーザーの間で広く認知されていることがライセンス選定基準のひとつでした」

また、「PrimeCloud Controller」OSS 版用に SCSK 社内で利用していた開発資料をすべて、OSS ユーザー向けに作成し直したのが綾野鉄朗だ。「製品として提供する限り、誰にでも分かりやすい資料を用意することが必須です。当社もハイブリッドクラウドの管理に「PrimeCloud Controller」を利用しているので、ユーザーでもあります。ユーザーの視点で制作を行いました」

「PrimeCloud Controller」OSS 版のシステム監視は「Zabbix」で行っているが、そのシステム監視の改善を行ったのが日本での Zabbix コミュニティー「ZABBIX-JP」のスタッフでもある田中 敦だ。「Zabbix もどんどん新しいものになっていますので、さらに新しい要素も加えていく予定です」

#### OSS 開発スタッフ



SCSK 株式会社  
R&D センター OSS 戦略企画室  
OSS 技術第一課  
シニアプロフェッショナル  
IT スペシャリスト

菊地 吾朗



SCSK 株式会社  
R&D センター OSS 戦略企画室  
OSS 技術第一課

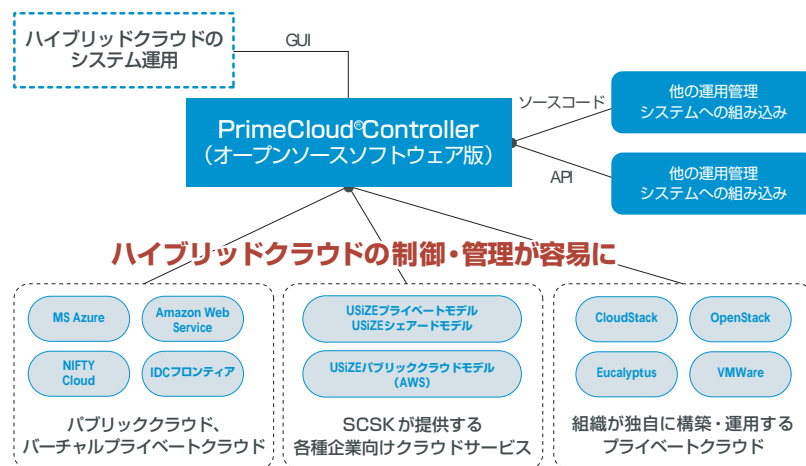
綾野 鉄朗



SCSK 株式会社  
R&D センター OSS 戦略企画室  
OSS 技術第一課  
IT スペシャリスト

田中 敦

#### 「PrimeCloud®Controller」オープンソースソフトウェア版の概念図



### 「PrimeCloud®Controller」OSS 版は多くのエンジニアの未来を変える

予測通り OSS の時代が来たとはいえ、OSS を不安視する声が少ないわけではない。顧客の不安をぬぐい、信頼を得るには、OSS に関する知識の全社的なボトムアップが必要だ。SCSK では開発メンバーだけでなく、経営陣を含め関係者全員が OSS への理解を深め、OSS のビジネスをきちんと理解することに努めている。その手助けをしたのも OSS 戦略企画室だった。

「PrimeCloud Controller で、これまでエンジニアが手作業で行っていた作業が自動化されますから、エンジニアはよりクリエイティブな仕事に時間を費やせるようになります。OSS 版でさらに使いやすい製品になったことで、より多くのエンジニアにその機会を享受してほしいですね」(菊地)

「PrimeCloud Controller」OSS 版で SCSK は新しいビジネスモデルに打って出た。今後は、ユーザーコミュニティの形成によるノウハウの蓄積、動向が注視される OpenStack へ注力し、ネットワークの仮想化対応など製品に磨きをかけていく方針だ。



#### <製品・サービスに関するお問い合わせ>

SCSK株式会社 ITマネジメント事業部門  
基盤インテグレーション事業本部  
クラウドインテグレーション部 浅野  
tel : 03-5859-4704  
e-mail : support@primecloud-controller.org

**SCSK** SCSK株式会社

SCSK 株式会社  
〒135-8110 東京都江東区豊洲 3-2-20 (豊洲フロント)  
TEL: 03-5166-2500